



Sakura 100



2016年11月-12月

桜1号 2000年5月



From the President

A new era has ushered in with a different dimension. It is a dream which is being materialised after a prolonged matured thought. Yes - Sakura, the News Magazine of Nihongo Kaiwa Kyookai has taken its birth.



安部首相のインド訪問

会長パットさんのメッセージ



46号
2007年 11月・12月

Nihongo Kaiwa Kyookai Society, 2B, Shivangan, 53/1/2, Hazra Road, Kolkata
E-mail: nihongokaiwakyoukai@hotmail.com Visit us online: www.nkks.org.in

やぶへびだ
藪をつついて蛇を出す



安倍晋三氏の コルカタ 訪問

2007年8月23日、コルカタで印日友好50周年の年に、印日関係歴史上の画期的な出来事があった。ビダンナガルの「印日文化センターとラビンドラ岡倉バウン」が日本国前首相、安倍晋三氏によりオープンされた。



52号
2008年11月・12月

晴れ姿

先生、おめでとうございます



日本語会話協会の私達にとってこの晩はどんなに嬉しい時でしたか。ニガム和子先生がインドでの長年の日本語教育や日印交流に貢献されたことに対する感謝の印として日本の外務大臣表彰を受けられた。授与式はコルカタ在日本国総領事の公邸で行われ新総領事の寒川富士夫様が賞状と記念品を授与された。先ず総領事が先生を紹介され、先生がスピーチをされた。先生はその中でこの表彰に改めてお礼を言われ、又ご家族や生徒達から尊敬と愛を受けたことに、心から感謝の意を述べられた。先生はご主人のお母様がいつも励まして下さったお礼として、ご主人のお祖母様がお母様に結婚祝いとして上げ、今は先生の手元にあるサリーを着られて、お母様にお礼の気持ちを示された。何と先生らしいことでしょうか！

Nihongo Kaiwa Kyookai Society, 2B, Shivangan, 53/1/2, Hazra Road, Kolkata- 700 019
E-mail: nihongokaiwakyoukai@hotmail.com Visit us online: http://www.nkks.org.in/



83号
2014年1月・2月

おごひさ
著るもの久しからず Pride comes before fall

明仁天皇陛下と美智子皇后陛下

新年おめでとうございます



明仁天皇陛下と美智子皇后陛下はインドを訪問された日本の最初の天皇である。お二人は皇太子と皇太子妃として53年前にも訪印されたが、今崇高な雰囲気にも困まっていることはまぎれもない。二国間の結束は、時間と共に強くなってきている。この強い幸福感とは何だろうか。天皇は天人の地球の全ての力の源である太陽の女神 天照



天皇皇后陛下御接見

2013年12月1日の午後18時 この時間は私にとって一生忘れられない時間になります。栄誉なことに私はニューデリーの日本国特命全権大使より天皇皇后陛下のご接見の儀に招かれました。決められた時間に日本大使館に着き、主人と私はレセプションルームに案内され、インド全国から集まった約100名の人達と五つのテーブルを囲んでその瞬間を待ちました。18時ぴったりに重厚な大きなドアが開けられ、両陛下は大きな拍手に迎えられて八木大使ご夫妻のエスコートと共に入場され反対側の金びょうぶの前に進まれました。大使からどのような人達が集まったのか簡単に紹介され、そのあと私達は順々に両陛下のおそばに行き直接お話しする機会が与えられました。私は美智子様「コルカタで40年間日本語の教師をしております」と申し上げたら「いいお仕事をされていますね」とお言葉をいただきました。

その直後に予定の時間の30分が終わり両陛下は両側に並んだ私たちに笑顔でご挨拶をされながら拍手と共に退場されました。

美智子様のお言葉を励みにこれからも日本語を教えていきたいと思ひます。ニガム 和子

天皇皇后陛下御接見

これらは本の少しだけで、詳細は NKK のウェブサイトを見是非ご覧下さい。





私は日本に関してアイデアや情報を共有出来るプラットフォームを作りたかったので他の幹部メンバーに相談した。皆心から賛成してくれた。私の創造力が出てきて、ニガム先生はそれに弾みをつけて下さった。見て、「桜」が誕生した！

アルナワ



「桜」は2000年5月から旅を始めた。私が第15号の出版からこの隔月ニュースレターの担当をしている。その後トヌスリさんも参加し、2人でニュースレターの編集をしている。実はアルナワさんの考えで始められ、先生はいつも貴重な意見を下さる。今回は100号の記念版で今でも初版に書いたパットさんの文章が忘れられない。彼は「新しいアイデアを生み出すのは比較的簡単だが、その考えを適正に成長させることは難しい」と書いた。「桜」は時間が経つにつれますます強くなってきた、万歳！

アローク

「100」とはなぜ重要なのだろうか。象徴的な意味？、マイルストーン？、出来事？これらが100というところを最終的にみなしている。私達の4ページのニュースレター「桜」も、そのマークに達した！みんながよく遣う「Googol」の意味は1のあとに100個のゼロが続くということで数学的な用語だ。この用語は、ミルトンシロッタが造った用語でGoogleの用語では、ウェブ上で利用可能な膨大な量の情報を整理するという意味で同社の目的でもある。だから日本語を共有するというで、「桜」も同じ目的だ！

トヌスリ



記念100号
先生のメッセージ

「桜」100号おめでとうございます！

「100」についての記事、難しいですね。思いつくまま書いてみますので、適当に編集してくださいね。

「100」、日本語で書くと「百」一と白が合わさって、「百」という字になります。漢字の百は「ひゃく・もも」とも呼び、単に100としてではなく、大変多いことも表します。例えば
百科事典、百貨店、百人一首、百面相、日本百名山、お百度参り・・・。
こんな所でよろしいでしょうか。

上原美津代
準会員、日本

桜 100本

さくら はな
桜の花のつぼみが
ゆっくりゆっくりと
ほんさ
100本咲きました。
つよ かぜ ふ
強い風が吹いても
散りませんでした。
なが みち ま
長い道が待っています
つか くだ
疲れないうで下さい
わたし
私はあなたと
いっしょ ある
一緒に歩いて行きたいです。



プリタ ロエ

タヌスリさん、アロークさん、桜100号達成おめでとうございます。二ヶ月に一度と言え毎回毎回欠かさず出版するということはとても大変なことだと言えます。それにいつもどんなに忙しくても締め切りに間に合うように準備して下さるタヌスリさんには心からお疲れさまと言わなければなりません。ゆかいな絵とともにつづり変えのクイズを作ってくれるショントウさん、頭の体操にもなり語彙の数を増やしてくれるクロスワードを作ってくれるマハシタさん、いつもきれいな写真を写してくれるアンジャナさんのお三人にもお礼を言わなければなりません。皆さんのボランティアのチームワークでここまで来られました。会員の皆さんも桜を読むだけでなく日本と日本語関係ならどんな記事でもいいのでタヌスリさんに送ってください。今回は100号記念なので「百聞は一見にしかず」ということわざをご紹介します。日本語を習っている人や習い終わった人達に一度チャンスを作って是非美しい国日本を自分の目で見てください。

ニガム先生

11月・12月のプログラム

- ◆ JLPTに合格しよう： 2016年11月6日
クスブー アガルワル
サラット サミティで 3時半
- ◆ 印日文化祭練習： 2016年12月
ニガム先生・ルマ先生へ連絡を下さい
- ◆ ピクニック： 2017年1月15日

尹賀政幸総領事様からの一言



この度は、日本会話協会の「桜」ニュースレターが創刊されて第100号という記念すべき号でご紹介頂きますことを大変有り難く思います。コルカタ総領事に任命されました尹賀政

幸です。私は、1983年に外務省に入省し、1984年に生まれて初めて飛行機に乗り、初めての国外の地に足を踏み入れたのが、インド、ニューデリーでした。それから1988年までの4年間（最初の2年はアラハバード大学への研修留学、後の2年はニューデリーの大使館勤務でした）と1997年から2000年までの3年間の大使館勤務と合わせて7年間、インドに暮らしました。

私が初めてコルカタを訪問したのは、アラハバード大学留学中の1985年のことでした。「喧騒の街」というのは、インドの他の都市にもあてはまる言葉だと思いますが、特に、コルカタの道路を自動車（当時はほとんどがアンバサダーでした）やらオート・リキシャやら、馬車やら、リキシャやらが、それこそ押しくらまんじゅうしながら、我先にと先を急いでいたことが強く印象に残っています。また、コルカタ大学周辺に本屋さんがあふれんばかりに軒を連ねていたことも印象的でした。そして、本屋さんの中で日本の小説家の作品をベンガル語訳した本を見たのが、その時だったか、2回目の訪問の時だったかは忘れましたが、ベンガルの人たちの日本への関心に感銘を受けました。

その後、東京（外務省本省）では、インドをはじめとする南アジアの国々との関係を担当する南西アジア課に、海外では、ネパール、アイルランド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの大使館に勤務しました。数えてみますと、南アジア地域に20年程暮らしたことになります。その間、南アジアの色々な地を訪問し、色々な人達と出会いました。北ではカシミールやラダックの人、西ではパシュトゥーンやバローチの人、南ではタミルやシンハラの人、東ではベンガルやマニプルの人、などなど、それぞれ特徴があると思いました。その中でも、ベン

ガルの人たちには、思慮深く、情に厚い、という印象を持っています。

他方、ベンガルの人も含め、インドの人たちに共通することとして、アマルティヤ・セン教授の「議論好きのインド人」よろしく、どこでも誰でも本当に良く議論をする、言いたいことをしっかりと主張する、ことがあると思います。日本では、推して知るべし、話さなくても解り合える、といったことが美德とされ、人前であまり議論をしない傾向がありました。そこにインドと日本の文化の違いを感じた人も多いと思います。ただし、今日では、国際化が進む中、日本人でもしっかりと主張し、議論できる人たちが増えてきています。

日本の文化や伝統を世界にしっかりと伝えようとした先人もいます。「茶の本」や「東洋の理想」を著した岡倉天心がその一人です。その岡倉がスワミー・ヴィヴェーカーナンダやラビンドラナート・タゴールと知的な交流を持ったことは、日本とインドの関係にとって、また、ベンガルとの関係にとって極めて重要なことだと思います。

今日の日印関係は、「特別戦略的グローバル・パートナーシップ」として強化することが合意され、年々、政治、安全保障、経済、文化等の様々な分野で幅と深みを増しています。この関係の基礎に先人たちの知的交流があったことに思いを馳せつつ、その交流の拠点となったコルカタで勤務できますことは、私にとって大変光栄なことであり、楽しみです。皆さんと一緒に日本とインドの友好・協力関係の促進に尽力して参りたいと思いますので、ご指導賜りますよう、宜しくお願い致します。

2016年10月5日 尹賀政幸



田中様と加藤様と一緒に日本語クイズの優勝者

1. ソヒニ
2. アルナバ
3. アマン



1. アヌスカ デブジョティ
2. アグニシュアル プラセンジット
3. インドラクシ スシャンタ

日本語クロスワード
(11月 - 12月)

1.	2.	3.		4.		5.	6.
7.				8.	9.		
10.			11.		12.		
13.			14.	15.			
		16.				17.	18.
19.	20.		21.		22.		
	23.	24.			25.	26.	
27.				28.			

ACROSS

- 1) Warm
- 5) Domestic work
- 7) Addition
- 8) Right now
- 10) Puppet
- 12) Price
- 13) To roll
- 14) Recent
- 16) Marshland
- 17) Accident
- 19) Will
- 21) Play/drama
- 23) Dentist
- 25) South
- 27) Hundred
- 28) Relief

DOWN

- 1) Shameless
- 2) Physical Education
- 3) Treasure
- 4) Good
- 5) Nice guy
- 6) Pride
- 9) Invitation
- 11) Brave
- 15) Market
- 18) Citizen
- 20) Branch office
- 22) Immigrant
- 24) To write
- 26) Pear

(9月-10月)

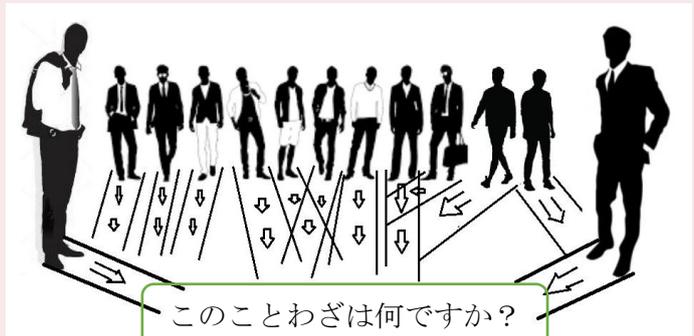
日本語のクロスワードの答え

1.	2.	3.		4.		5.	6.
か	い	ぎ		し		つ	か
7.				8.		9.	
み	そ			て		き	い
10.						11.	
な	が	い		き		い	け
12.				13.		い	せ
り	し			す		い	ん
	14.	15.				16.	
	い	き				き	た
17.				18.		19.	
		か		ふ		ふ	ご
20.	21.					22.	
あ	か	い		ろ		し	か
23.				24.		か	ん
い	る	か		か		ん	い

モハシェウェータ バス ムカルジー

綴り換え- 46

下記のボックスに言葉を元の状態に戻し、丸字をつないで彼が言っている言葉を見つけましょう。



- 1. かつじてんひや(Encyclopedia)

○	○						
---	---	--	--	--	--	--	--

- 2. がらくに(National character)

○	○		
---	---	--	--

- 3. かんげんにんけい(Human relation)

	○						
--	---	--	--	--	--	--	--

- 4. だまえんくひや(100 Yen coin)

○	○	○					
---	---	---	--	--	--	--	--

- 5. がくかいようか(Marine science)

		○	○				
--	--	---	---	--	--	--	--

ジョントウ デブナート

綴り換えの答え - - 45

- 1. さびる
- 2. もくざい
- 3. きかい
- 4. らんよう
- 5. おちつく
- 6. るすばんでんわ

さ	る	も	き	か	ら	お	ち	る
---	---	---	---	---	---	---	---	---

「桜」は永遠に咲く

編集者：トヌスリ チャタルジー・アローク バス 翻訳者：トヌスリ チャタルジー

桜... 日本語会話協会の隔月のニュース レター